

議事録兼報告書

会議名称	第1回伊那市行政改革審議会
日時	平成27年7月16日(木) 10:30~11:45
場所	501会議室
議題	平成26年度 行政改革の取組結果について 平成27年度 行政改革の取組内容について 平成27年度 行政評価(外部評価)について 第3次行政改革大綱諮問について
議事内容	
<p>1 開会(総務部長)</p> <p>2 あいさつ(上野山会長) 委員の任期も折り返し地点に来た。本日は(4)第3次行政改革大綱諮問についてが一番重要なことになると思う。この会議は真に必要なものの審議には見えない。土地開発公社や地域協議会など個々の審議会のように、行政改革審議会も実のあるものになると良い。目的に沿って十分な審議をして実のある会議にしたい。</p> <p>3 委員委嘱、自己紹介(原委員)</p> <p>4 協議事項</p> <p>(1) 平成26年度 行政改革の取組結果について</p> <p>①行政改革大綱の取組結果について —資料No.1に基づき事務局より説明— (質問・意見なし)</p> <p>②行政評価の取組結果について —資料No.2に基づき事務局より説明— (質問・意見なし)</p> <p>・行政改革審議会が一番重要なものの審議がないという指摘は気になるが、土地開発公社の解散は行政改革審議会委員の意見を反映している。こういうことを研究したり出していきたい。伊那市の行政改革審議会はこうだということを前面に出していきたい。(総務部長)</p> <p>(2) 平成27年度 行政改革の取組内容について —資料No.3に基づき事務局より説明—</p>	

(質問・意見なし)

(3) 平成27年度 行政評価(外部評価)について

—資料No.5に基づき事務局より説明—

・時間帯は。(委員)

→午後いっぱい予定。19日はA、B班合同で戻ってから意見交換をと思っている。(事務局)

・行く前に説明してもらえるか。(委員)

→事業の内容など資料を事前に送る予定(事務局)

・経費面に目が行きがちだが、農政課補助金は六次産業化などを積極的に進めているのに予算を使い切っていない。どういう制度にすれば使いやすいかなど事業を充実させる視点で意見をいただきたい。(総務部長)

(4) 第3次行政改革大綱諮問について

—《資料No.4》に基づき事務局より説明—

・第2次Ⅱ「安定した」財政基盤が第3次で「健全な」となっているのは後退したイメージを持たれないか。また、第1次、2次にある「協働のまちづくり」の表現が消えた意図は。(委員)

・安定した財政基盤が達成されたという評価で「健全」になったのでは。(委員)

・「健全」に変えると今まで健全でなかったイメージを持つ。いい結果が出ていたならそのまま残しても良い。(委員)

・市民との協働は難しい分野。5年間でどこまでできるか、どういった姿まで持っていきたいかイメージに近い言葉を使うと市民に分かりやすい。(委員)

→他市町村と財政指標を比較して上位にはない。だからといって不健全ではない。「安定」より発展した意味だと思って「健全」という言葉の選び方をしたが、別のとらえ方もあるようなので検討する。「協働」は数値化が難しい。地方創生が政策に取り入れられ今まで以上に重くなる。具体的な表現が良ければ取り入れたい。(事務局)

核心を突いた意見。財政力を高める取り組みが行われていて、同規模の自治体に比べて借金が多くて貯金はそこそこ多くなっている。表現を「安定」から「健全」にしたが、一般的な感覚では今健全ではないというとらえ方もあるということなので検討する。「協働」というのは抽象的。市総体的にはまだまだだと思う。大事な視点なので協議いただきたい。(総務部長)

「市民の力を活かす」をより表に出した方が良い、イメージしやすい表現を、という意見なのでそう変える。(事務局)

・安定した行政でも不安定な財政の所は妙なところにお金を使う。効率を良くして市民サービスを維持しながら効率的に税金を使うことが大事。もっと大事なものは10ページにある職員の意識改革。市の将来ビジョンに向けて職員がどんな意識で取り組んでいくかということ。市民とのキャッチボールがないと時代に遅れていく。意見交換の場を作ってほしい。市民か

ら見た行政の意識、良いところ悪いところなどざっくばらんに話し合っ
て行革のテーマに取り込んでほしい。審議会の本来の役割から外れるか
もしれないが、職員の意識改革が根本にあると思うので提案したい。
(委員)

→10年前初めて行政改革推進室ができたときに職員の意識改革に取
り組まなくてはならなかった。前例踏襲が普通で変わること
に抵抗があった。市民の視点に立つという基本的なこと
から始め10年前と比べたらだいぶ変わったが、民間からしたら生
ぬるい。新たな気持ちで取り組みたい。(総務部長)

(5) その他

・意識改革の方向性について摺り合わせをする機会があればと思う。
(委員)

6 その他

(質問・意見なし)

7 閉会 (上野山会長)

以 上